

せらび

第八十三号

一 発 行 一

社会福祉法人
せらび後援会

0144-75-2328

おむ・ねっとで印刷事業 〔就労継続支援B型事業〕始動！

就労支援センターおむねっと

就労支援センターおむ・ねっとでは、平成25年2月1日から就労継続支援B型事業の指定を受け、今までの就労移行支援事業と合わせて多機能型事業所として利用者の多様な就労に対するニーズに応えられるよう活動しています。



ポスターや横断幕、冊子等が印刷できます。

就労継続支援B型事業の作業内容は印刷事業で、今までのパソコンプログラムの技術を活かしつつ、また、法人内の印刷工房クローバーにスタッフやメンバーが見学に行き、作業についてのサポートを受けながら進めています。作業室は既存の多目的室に棚を設置するなどして改装し印刷設備も名刺やハガキ、冊子等を印刷するものに加え、チラシ、垂幕や大判のポスターの印刷が可能となる機器を導入したほか、名刺印刷のた

めのソフトウェアも新たに導入しました。スタッフもメンバーも印刷機の操作やソフトウェアの操作を覚えることから始め、作業手順や、機械操作をマニュアル化するなど、工夫をしながら進めています。早くも千歳地域の関係機関からパンフレットの作成や、封筒や名刺の印刷などの注文を頂き、忙しく作業を行っています。今後は、行政機関や同じ福祉関係の事業所や一般事業所などに営業を行い、多くの受注を得て、印刷作業を通して就労の力を高めて、高い工賃を目指して頑張りたいと思います。

留学生から奇贈 チェさんありがとう 苦小牧地域生活支援センター

苦小牧地域生活支援センターでは、1月28日、韓国からの留

学生、チェ・スンボムさんよりお米10kgを寄贈していただきました。苦小牧駒澤大学での留学期間が終わり、帰国する前に「お世話になった苦小牧に何か役に立てれば」と、お米を持って苦小牧市の市民自治推進課を訪ねられ、当センターを紹介されたそうです。この日は、市の国際交流担当者と一緒にセンターを来所され、チェさんからセンター長へお米が手渡されました。暖かいお気持ちに感謝しつつ、頂戴したお米は夕食サービスで活用させていただきました。

拠点施設を改修 機能的に 就労支援センターまろにえ

まろにえでは別館の「あいりす」を一部改修し、新年度を新たな気持ちで迎えました。

就労移行支援の職員の事務室が作られ、あちこちに分散して収納されていた清掃作業の道具や各種作業着も用具部屋にまとめて収納できるようになりました。また大量の雑巾を乾かすための乾燥機も設置されました。

度の事業計画や予算案について審議が行われ、新たな制度改正を踏まえて、今後の法人が取り組む活動について話し合われました。

買い物ツアーに つぎの出陣！

千歳地域生活支援センター

これからも、「本館」「すずらん」「あいりす」を行ったり来たりしながらはなりますが、フットワークの良さがまるにえの持ち味なので、これらの拠点を活用して活動していきたいと思っています。

千歳地域生活支援センターでは、今回初の試みとして買い物ツアーを実施し、6名の方が参加されました。



利用者の利便性向上

クローバーでは、軽作業スペースと印刷作業スペースを結ぶ通路部分を、これまでの土足利用のみから、敷物の上で靴をはかずに両スペースを往来できるようにしました。

利用者の方々の利便性向上にこれからも努めてまいります。

ご支援有難うございます

法人、施設、後援会への寄付と会費を納めていただいた方々です。皆様の温かいご支援、ご協力に感謝し、報告させていただきます。(平成25年1月23日〜平成25年4月15日)

▽ 法人寄付
つしま記念学園様

▽ 後援会会費

石黒健一様、石黒理絵様、亀井寿郎様、山崎肇様

平成24年度・平成25年度の会費納入にご協力、お願い致します。

- 年会費は左記の通りです。
- ・個人会費 一口 五千元
- ・団体会費 一口 二万円

平成24年度 理事会・評議員会が 開催される

平成25年3月30日、アルドールにおいて、社会福祉法人せらび第81回理事会・第40回評議員会が開催されました。主な議案としては平成25年